

香美市子ども・子育て支援事業計画における個別事業の進捗状況（令和2年度）

資料1

※ 「評価」欄の評価基準

- A：計画どおりに進んでいる。 B：概ね計画どおり進んでいる。
- C：計画よりやや遅れている。 D：計画より大幅に遅れている。

基本理念 に 支え 合い 子 と も の 笑 顔 あ ら れ る 香	基本 目 標	基本 方 針	No.	実施事業	担当課	事業内容	取り組み・成果	課題等	評価	今後の方向性
			2	保育所運営の充実	教育振興課 (幼保支援班)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7か所で実施しています。適正規模に満たなかった保育所（若藤・双葉保育園）については、令和2年度も休園としました。 ・なかよし保育園の0歳児クラスから2歳児クラスと、大柵・片地・新改保育園での土曜日11時間開所については、必要性等も含めて再度検討します。 ・職員の質の向上のため、研修内容を充実できるよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内7か所で実施しています。適正規模に満たなかった保育所（若藤・双葉保育園）については、令和2年度も引き続き休園としました。 ・土曜日11時間開所については、保育士・調理員が不足していることから調査・検討は行いませんでした。 ・香美市保育職員研修を各部会で延べ44回実施しました。このうち県主催の専門研修は、8回延べ46名が参加した他、部会以外でも県など外部主催の研修へ5回、延べ11名が参加しました。また、県の実施する基本研修へは各対象時期に参加しています。また特別支援保育コーディネーターによるティーチャーズ・トレーニングを実施し私立幼稚園職員を含む8名が参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長年休園となっている若藤・双葉保育園について、廃園も含め今後の方針を検討していく必要があります。 ・土曜日11時間開所については、保育士・調理員の確保が課題となっています。 ・職員研修について、若手職員の増加により研修の核となる職員の育成や、県主催の研修を取り入れるなど質の向上が課題となっています。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修の中止や、県主催の研修がオンライン形式に変更されるなど、研修の実施や内容の充実が課題となっています。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・長年休園となっている若藤・双葉保育園について、廃園も含め今後の方針を検討します。 ・なかよし保育園の0歳児クラスから2歳児クラスと、大柵・片地・新改保育園での土曜日11時間開所については必要性等も含めて再度検討します。 ・職員の質の向上のため、感染症対策をおこなったうえでの研修の実施や、研修内容を充実できるよう努めます。
			11	放課後子ども教室	教育振興課 (学校教育班)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労等の状況を問わず、放課後、すべての児童が等しく学び、遊べる場を提供します。 ・すべての小学校区での実施を目標として検討していきます。 	香長小学校・片地小学校・中央公民館で実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施できない学校もありました。	コーディネーターとなる人材確保や開催回数等の検討が必要です。	C	実施校以外でも要望があれば実施します。
			12	新・放課後子ども総合プラン	教育振興課 (学校教育班)	放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携を目指し、取組を検討していきます。また、必要に応じて余裕教室の活用を含め計画的に整備するとともに、一体型の取組に向けてすべての小学校区での連携を目標とし、放課後児童クラブ指定管理者、学校等と検討していきます。	放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携実施に向けて、指定管理者と検討を行いました。香長小学校において、連携型子ども教室を実施しています。	コーディネーターとなる人材確保が難しく、全ての学校で実施できない状況です。また、放課後等学習支援事業と内容の重複も見られます。	C	学校・放課後児童クラブ指定管理者と連携実施に向けた具体的な取り組みを進めます。
			20	むし歯予防	教育振興課 (幼保支援班)	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ素洗口への理解を深め、全園がフッ素洗口を実施できるよう努めます。 ・歯みがき教室をきっかけに歯みがきを習慣化できるよう保護者も含めて啓発する必要があるため、今後子どもや保護者に意識づけできるような事業を継続していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は美良布保育園、大柵保育園、片地保育園でフッ素洗口を実施しました。 ・はみがき教室は公立6園に栄養士と歯科衛生士が訪問し主に5歳児を対象に実施しました。 	1クラスの園児数の多い園での実施が課題となっています。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ素洗口への理解を深め、全園実施ができるよう努めます。 ・はみがき教室をきっかけに習慣化できるよう保護者も含めて啓発する必要があるため、今後も子どもや保護者に意識づけできるような事業を継続していきます。
			45	病気や障害に関する様々な支援	福祉事務所 (社会福祉班)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児通所支援、地域生活支援事業等の福祉サービスの提供を通じて、障害等のある児童が地域で生活できるように支援していきます。 ・令和元年7月現在、「児童発達支援センター」は中央東園域に1か所ありますが、今後は、センター機能のさらなる充実に向けて働きかけを行い、障害のある児童の発達支援と保護者への家族支援などの地域支援体制を強化していきます。 ・主に重症心身障害児を支援する児童通所支援事業所は園域に1か所あります。今後もサービス提供事業所や相談支援事業所、行政が連携し、近隣自治体とも情報交換を行いながら支援体制を整備していきます。 ・また、今後、医療的ケアが必要な児童やその家族を地域で支えることができるよう、広域での協議の場や調整方法を検討し、既存の障害者自立支援協議会等も活用しながら、保健・医療・福祉・保育・教育等の関係機関の連携を図り、支援体制を整備していきます。 	障害者自立支援協議会を2回開催しました。第2期香美市障害児福祉計画を策定しました。	医療的ケア児に係る協議の場が設置できていません。	C	本年度は、子ども支援部会を開催し、医療的ケア児に係る協議の場を設置します。また、保育所等訪問支援の在り方についても検討していきます。
			69	思春期保健事業	健康介護支援課 (親子すこやか班)	市内小中学校を対象に、いのちの大切さを学ぶ機会として、各校と連携して実施します。取組成果については、教育振興課とも情報共有を行います。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止しました。	中学校で実施してきた乳児とのふれあいは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できませんが、内容や実施方法を工夫し、必要な情報を伝えることができるようにしていく必要があります。	C	感染症対策をとりながら、事業を継続していきます。学校と連携し、実施時期、内容、実施方法を検討していきます。